岐阜県立飛騨高山高等学校

学 校 長 神出 建太郎

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町 2000-30 電話 0577-32-5320
(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

- 1 会議名 令和7年度 飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月16日 (金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 飛騨高山高等学校 山田キャンパス 会議室および学校農場 (授業参観)
- 4 参加者 委 員 荒畑 勝之 高山信用金庫 総務課長
中澤恵里子 協和紙器
船場 信幸 JA飛騨ミート 総務部長
井上 岳洋 岐阜県指導農業士
飯山 友美 飛騨亭 花扇 (女将)
高桑眞佐子 高桑内科クリニック
戸田 柳平 育友会長 (全日制)
松野 健志 育友会長 (定時制)
新井 広樹 部活動後援会長 (通信制)
井上 守 同窓会副会長
- 学 校 側 神出建太郎 校 長
島田 正幸 副校長 (全日制山田キャンパス)
小原 誠 副校長 (定時制・通信制)
葛谷 国博 事務部長
塚本 和幸 教 頭 (全日制岡本キャンパス)
奥田 和代 教 頭 (全日制岡本キャンパス)
中野 輝良 教 頭 (全日制山田キャンパス)
松本 正人 教 頭 (通信制)
岩坂 宗 教 諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)
足立みずほ 教 諭 (全日制山田キャンパス・教務主任)
三島 卓弥 教 諭 (定時制・教務主任)
打保友香理 教 諭 (通信制・教務主任)
水田奈央生 教 諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事)
野上 聖子 教 諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事)
佐藤 康成 教 諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事)
柳原 博之 教 諭 (全日制山田キャンパス・農場長)

※欠席者 学校側 近藤 泰子 教 諭 (全日制山田キャンパス・生徒指導主事)
(公務により欠席)

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 授業参観

- ・主に学校農場 (屋外) における専門科目での学びの様子を参観

- (意見1) 農場で体験を通して学ぶ生徒は、とても生き生きしており、感動した。生徒が自分の言葉で説明してくれ、まさに自走している姿が見られた。
- (意見2) 生徒たちは座学(教室)で学んだことを実習(フィールド)で結び付け、学びを深めている様子であった。
- (意見3) 学びの中に将来に向けた内容が含まれている点が印象的であった。

(2) 学校運営協議会の設置運営について

- ・説明

(3) 教育方針、教育目標、スクール・ミッションについて

- ・承認

(4) 教育指導の重点及び学校経営計画、分掌の取組計画について

- ・承認

- (意見1) 現状でどれくらいの地元就職者がいるのか。
(学校側より キャンパス毎に就職者の現況を説明)
- (意見2) 岡本キャンパスと山田キャンパスが連携してさらに充実させることもできるのではないか。例えば、山田キャンパスの農業科で生産した農産物に、岡本キャンパスの商業科が連携し、マーケティングの分野も学ぶことで、より価値を高めて販売するなど農業経営の学習も深められるのではないか。
(学校側より 生徒がより深く学習できるよう連携を進めていく旨、回答)

(5) 全体を通して

- (意見1) 飛騨高山高校の生徒は自然に挨拶や声掛けができる姿勢が素晴らしい。こうしたコミュニケーション力を身に付けられる教育を継続してほしい。
- (意見2) 農場での学習現場で生徒たちの生き生きとした様子が見られた。また、しっかり受け答えができる姿に感動した。社会人としても大切な素養となる「主体性、チャレンジ精神」を、高校における学びの場において実践できている。
- (意見3) 飛騨高山高校の卒業生は頑張っている。我が社(委員の所属する企業)においては、今年度の新入社員の中で、飛騨高山高校から入社した社員が最も良い。英語が話せず悔しがる一面もあったが、自己の課題と向き合い、頑張っている姿勢が何より素晴らしい。そのような人材の育成を今後も継続してほしい。
- (意見4) 最近は林業系への就職者が少なくなっている。一方で、昨年度は研究発表で全国大会に出場するなど頑張っている。是非、今後も生徒の適性にあった進路指導と進路選択につながる教育を進めてほしい。
- (意見5) 学校生活を通して母校愛、郷土愛をもつような教育を推進してほしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の学校運営基本方針について承認を得た。また、昨年度策定し、本年度から運用を開始したスクール・ミッションについても改めて説明し、助言を得た。

委員の皆様には、第2回以降の学校運営協議会において、引き続き、授業参観等において生徒の様子を実際に見ていただき、当校の取組の評価及び目指すべき姿や方向性についての助言をいただきたい。また、学校経営計画、分掌取組計画については今回の意見交換、助言を反映させ、今後、教育指導を進める予定である。